

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320245	XZY1320245			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
		1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
韓国語 1 cA	朴 修禧			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語と似た構造なので、日本人には習得しやすい外国語であるとも言える。まず表音文字としてのハングルの構成を正しく理解した後、読み及び書きを充分に練習して、単語や短文の自然な発音に慣れるようにする。さらに日本語と比較しながら韓国語の基本文法及び文型を学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】韓国語の文字であるハングルの仕組みと基本の挨拶
【前・後】ハングルの仕組みの理解。韓国的基本の挨拶を日常で使ってみる。

第 2 回

【授】ハングルの基本母音
【前・後】ハングルの基本母音を覚える。

第 3 回

【授】ハングルの子音
【前・後】平音と激音、濃音の差を理解し、正しく発音できるように練習する。

第 4 回

【授】複合母音
【前・後】基本母音と関連しながら複合母音の発音練習

第 5 回

【授】バッヂム
【前・後】バッヂムの発音を理解し、実際単語を読みながら練習する。

第 6 回

【授】発音の規則
【前・後】表記と異なる発音をする事を理解し、実際単語で練習する。

第 7 回

【授】韓国映画鑑賞（1）
【前・後】映画に出てきたセリフの流れに慣れる。

第 8 回

【授】韓国映画鑑賞（2）
【前・後】韓国の文化及び日本の文化との違いを理解する。

第 9 回

【授】제 2 과. 여기가 학생 식당입니다. (1)
【前・後】場所を訊いたり答えたりする。

第 10 回

【授】제 2 과. 여기가 학생 식당입니다. (2) / 제 4 과. 집이 어디에 있습니까? (1)
【前・後】地図を見ながら色々な国名を言って見る。 / 位置を表す言葉を覚える

第 11 回

【授】제 4 과. 집이 어디에 있습니까? (2)
【前・後】場所の位置を訊いたり答えたりする。

第 12 回

【授】제 6 과. 내일 우리 집에 오세요. (1)
【前・後】命令の文型を覚える。

第 13 回

【授】제 6 과. 내일 우리 집에 오세요. (2)
【前・後】招待状を書く。

第 14 回

【授】제 8 과. 무슨 음식을 좋아하세요?
【前・後】相手の好きな事に対して訊ねる。

第 15 回

【授】제 8 과. 무슨 음식을 좋아하세요?
【前・後】誕生日カードを書く。

第 16 回

【授】期末筆記試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							0
成果発表（口頭・実技）							0
演習							0
その他							10

その他は出欠

教科書参考書

韓国語初級 1 (慶熙大学校出版局)

受講に当たっての留意事項

基礎から始まる外国語なので欠席しないこと。ほぼ毎回授業の終りに口頭テストを行いますので積極的に授業に臨む事。ほぼ毎回宿題がある。

学習到達目標

ハングルが読める。初級レベルの読み書き及び会話ができるようになる。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンパリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320245	XZY1320245			国際学部国際文化学科 国際学部国際文化学科英語集中コース	専門 専門	選択必修 選択必修	1年 1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
韓国語 1 cB	朴 修禧	1	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	× × × × ×	× × × × ×	× × × × ×

授業目的

韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語と似た構造なので、日本人には習得しやすい外国語であるとも言える。まず表音文字としてのハングルの構成を正しく理解した後、読み及び書きを充分に練習して、単語や短文の自然な発音に慣れるようにする。さらに日本語と比較しながら韓国語の基本文法及び文型を学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】韓国語の文字であるハングルの仕組みと基本の挨拶
【前・後】ハングルの仕組みの理解。韓国的基本の挨拶を日常で使ってみる。

第 2 回

【授】ハングルの基本母音
【前・後】ハングルの基本母音を覚える。

第 3 回

【授】ハングルの子音
【前・後】平音と激音、濃音の差を理解し、正しく発音できるように練習する。

第 4 回

【授】複合母音
【前・後】基本母音と関連しながら複合母音の発音練習

第 5 回

【授】バッヂム
【前・後】バッヂムの発音を理解し、実際単語を読みながら練習する。

第 6 回

【授】発音の規則
【前・後】表記と異なる発音をする事を理解し、実際単語で練習する。

第 7 回

【授】韓国映画鑑賞（1）
【前・後】映画に出てきたセリフの流れに慣れる。

第 8 回

【授】韓国映画鑑賞（2）
【前・後】韓国の文化及び日本の文化との違いを理解する。

第 9 回

【授】제 2 과. 여기가 학생 식당입니다. (1)
【前・後】場所を訊いたり答えたりする。

第 10 回

【授】제 2 과. 여기가 학생 식당입니다. (2) / 제 4 과. 집이 어디에 있습니까? (1)
【前・後】地図を見ながら色々な国名を言って見る。 / 位置を表す言葉を覚える

第 11 回

【授】제 4 과. 집이 어디에 있습니까? (2)
【前・後】場所の位置を訊いたり答えたりする。

第 12 回

【授】제 6 과. 내일 우리 집에 오세요. (1)

【前・後】命令の文型を覚える。

第 13 回

【授】제 6 과. 내일 우리 집에 오세요. (2)

【前・後】招待状を書く。

第 14 回

【授】제 8 과. 무슨 음식을 좋아하세요?

【前・後】相手の好きな事に対して訊ねる。

第 15 回

【授】제 8 과. 무슨 음식을 좋아하세요?

【前・後】誕生日カードを書く。

第 16 回

【授】期末筆記試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							0
成果発表（口頭・実技）							0
演習							0
その他							10

その他は出欠

教科書参考書

韓国語初級 1 (慶熙大学校出版局)

受講に当たっての留意事項

基礎から始まる外国語なので欠席しないこと。ほぼ毎回授業の終りに口頭テストを行いますので積極的に授業に臨む事。ほぼ毎回宿題がある。

学習到達目標

ハングルが読める。初級レベルの読み書き及び会話ができるようになる。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習